

令和4年度 第3回県政参画電子アンケート  
「県民の防犯及び犯罪被害者等支援の意識」に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「県民の防犯及び犯罪被害者等支援の意識」に関するアンケート
- 実施期間 令和4年6月17日～6月27日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 697名
- 回答数 424名(回答率 60.83%)

2 目的・概要

県では、平成20年6月に制定した「鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例」(平成20年鳥取県条例第44号)に基づき「鳥取県犯罪のないまちづくり推進計画」を策定し、犯罪のないまちづくり(防犯及び犯罪被害者等支援)に関する施策の総合的な推進を図ってきたところです。

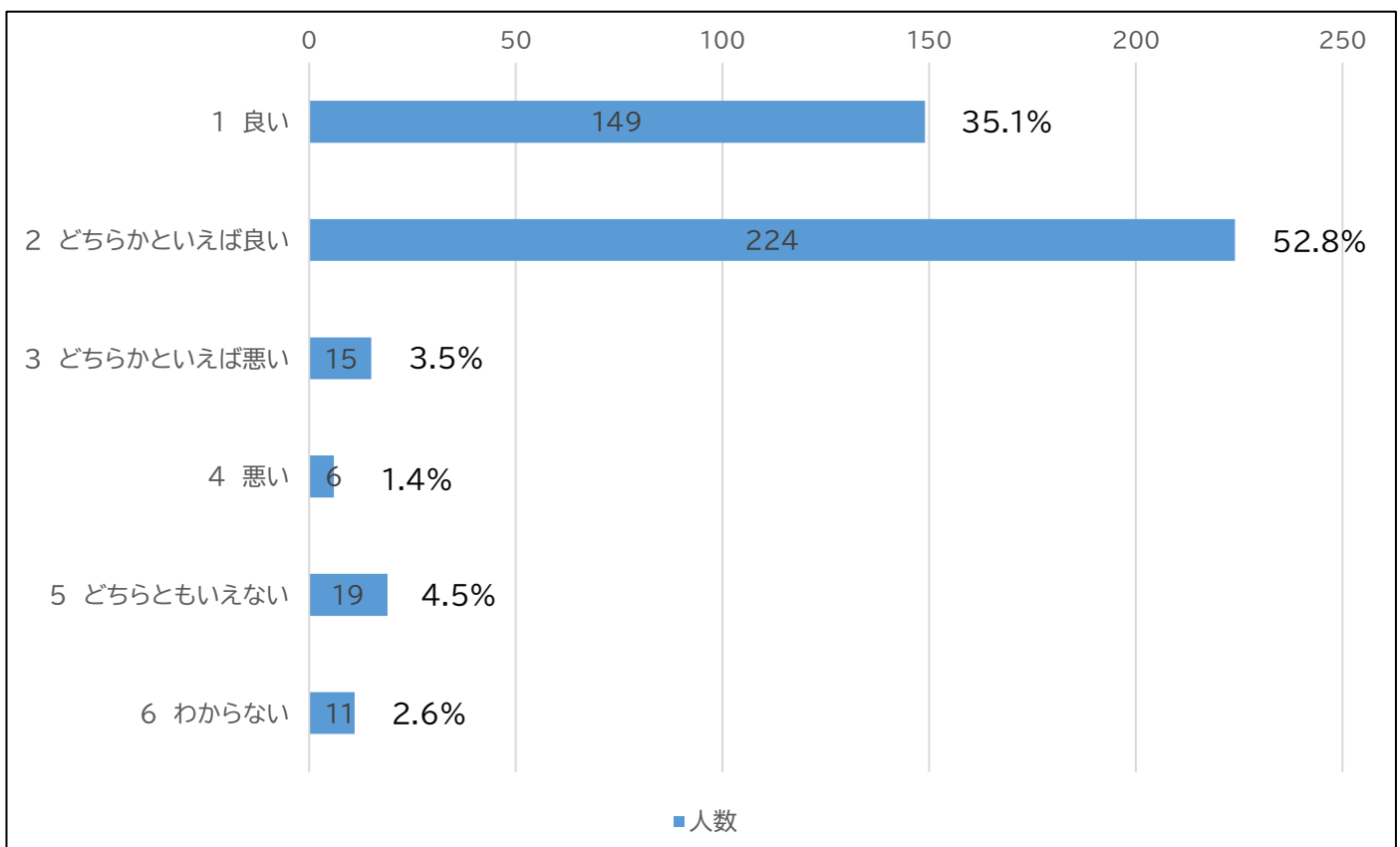
昨今の社会情勢の変化等に対応するため、第6期の推進計画を今年度末を目途に改定することとしています。

今回のアンケートでは、県民の皆さんから犯罪を防止するための活動や取組、防犯及び犯罪被害者等支援の意識や行政に対する要望などをお聞きして、防犯活動及び犯罪被害者等支援施策の推進に役立てていくことを目的として実施するものです。

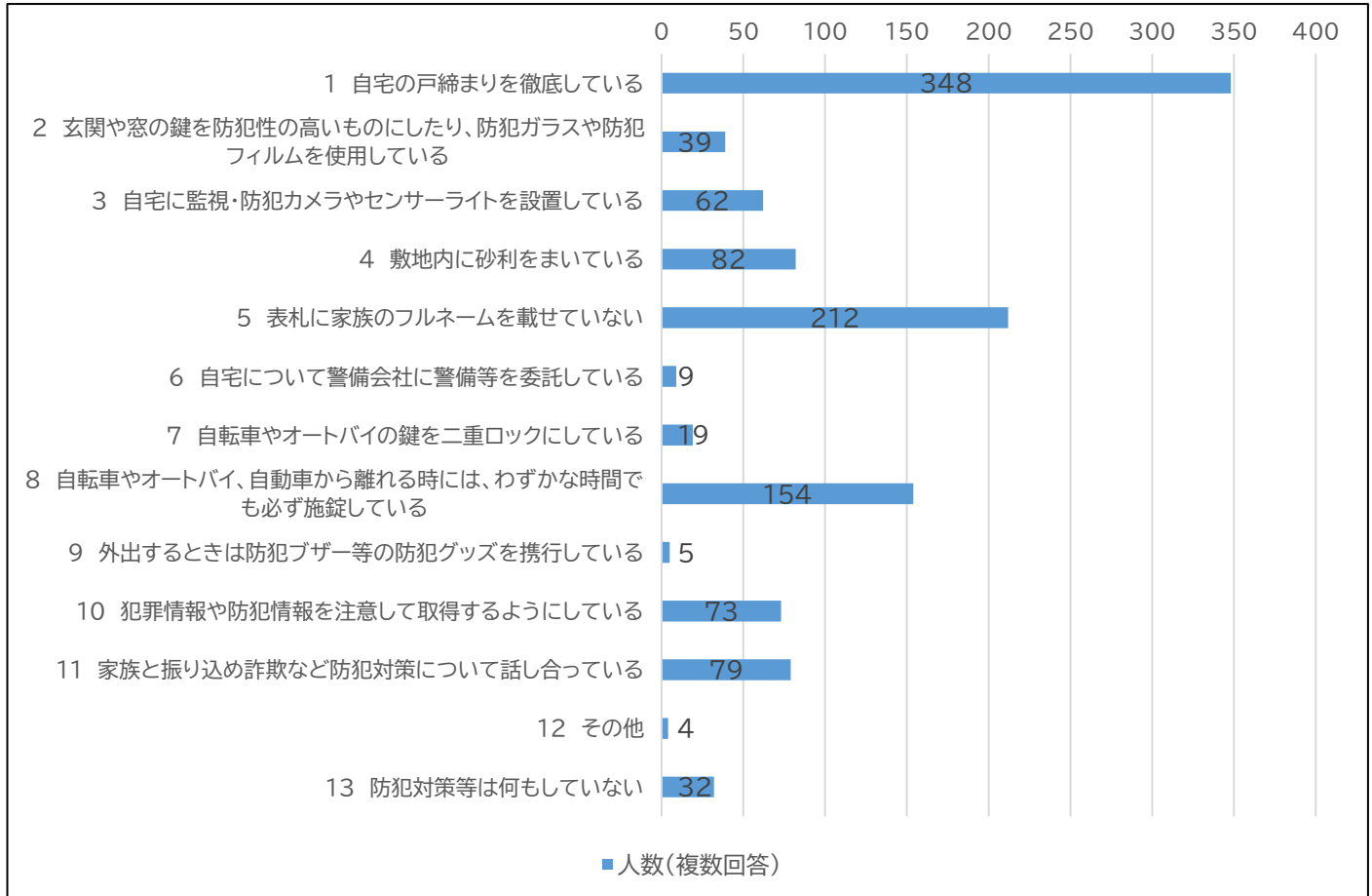
<参考>鳥取県犯罪のないまちづくり推進条例と計画

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=102119>

【問1】あなたはお住まいの地域の治安について、どう感じていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

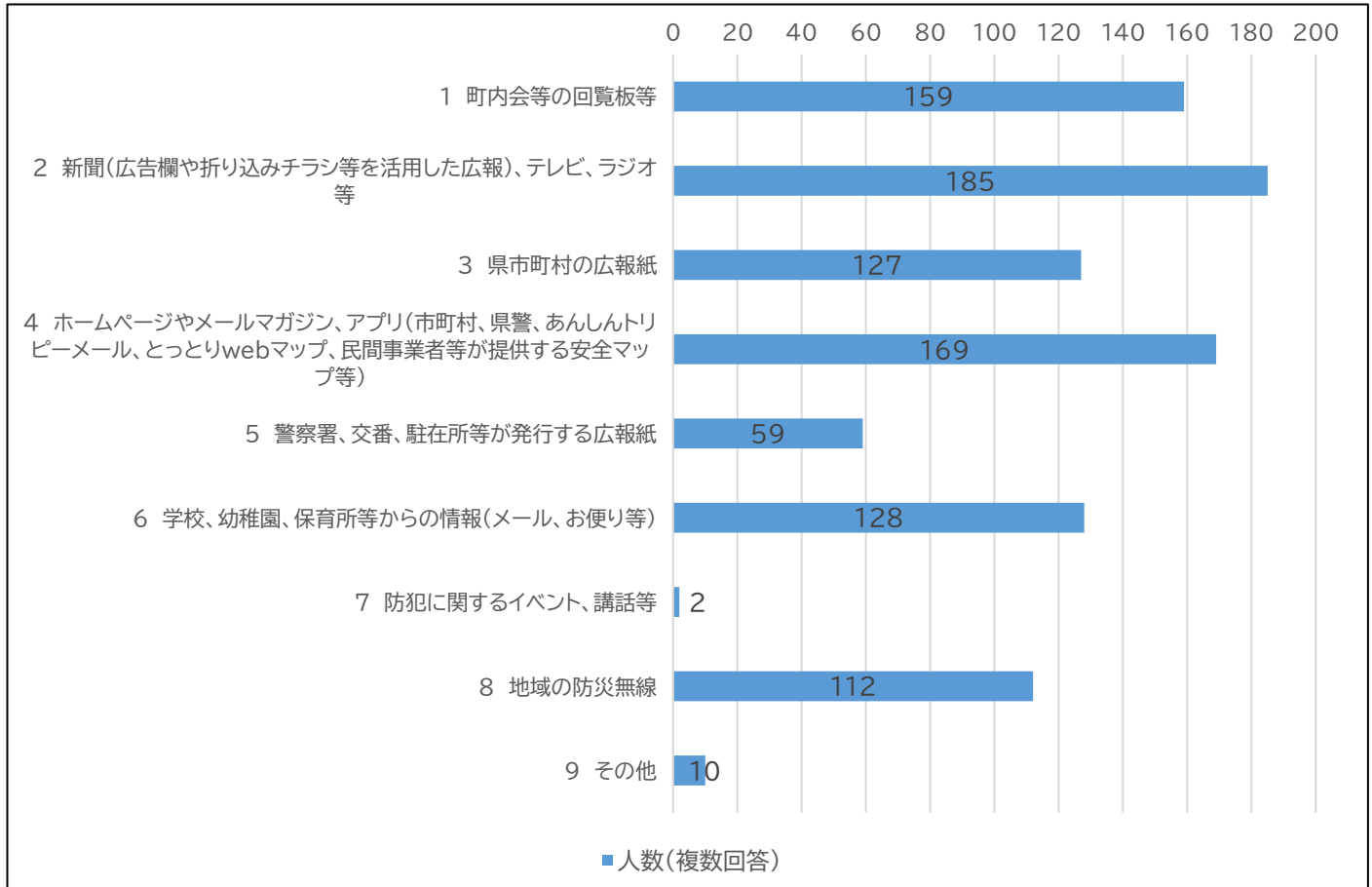


**【問 2】あなたは、家庭でどんな防犯対策をされていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)**



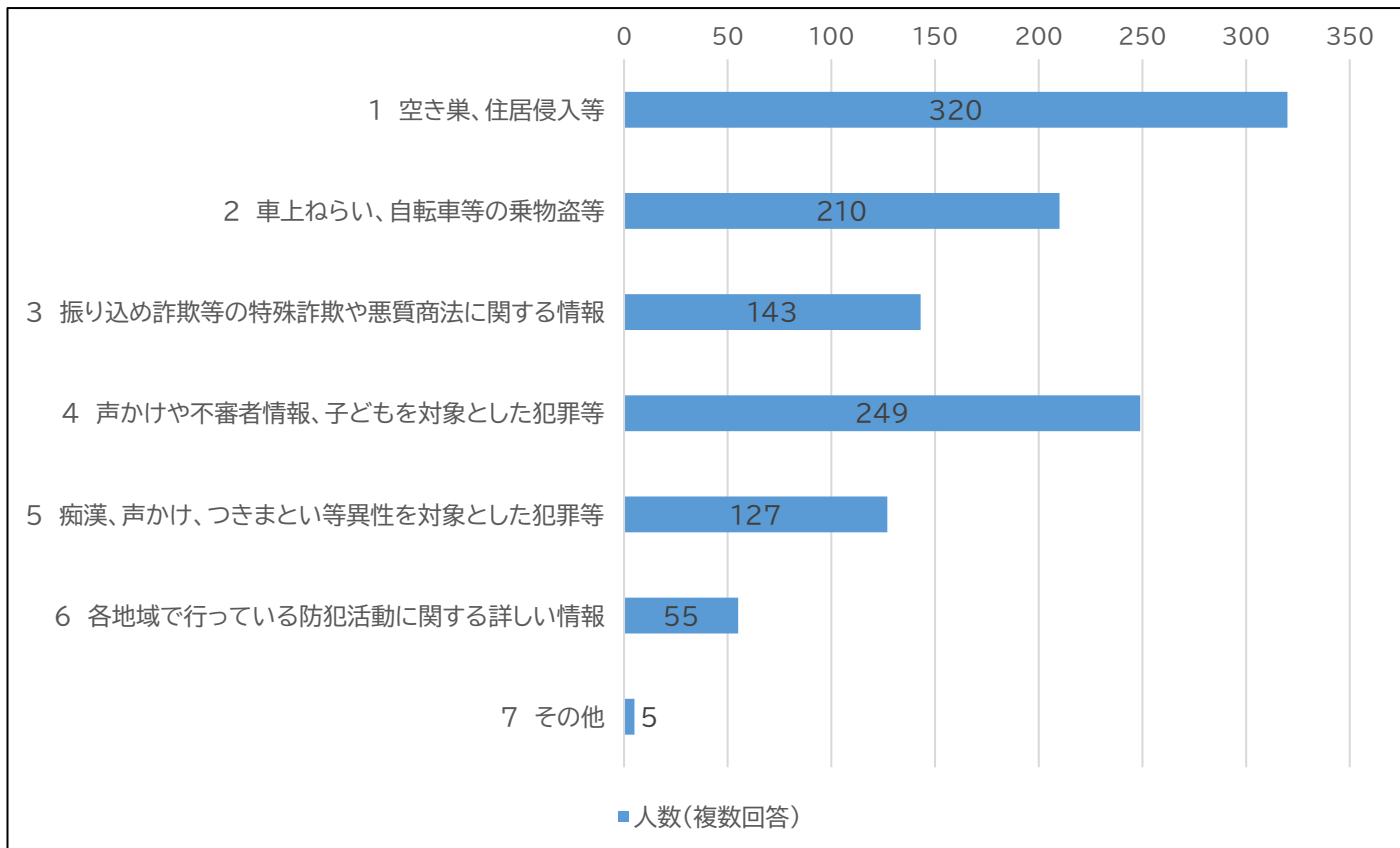
※複数回答、回答者 424 名

**【問 3】あなたは、地域の安全に関する情報を主に何から得ていますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。**



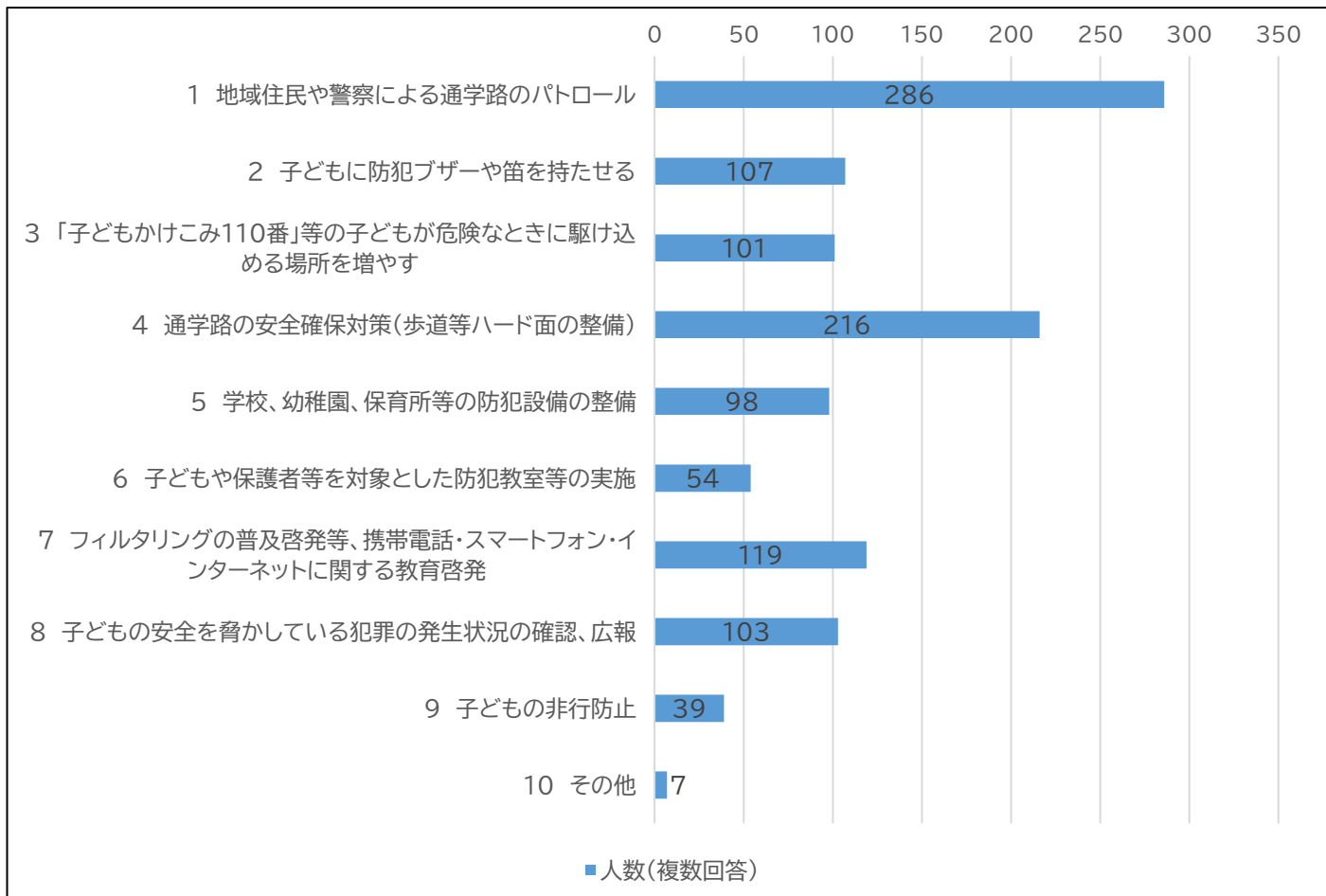
※複数回答、回答者 424 名

**【問 4】あなたは、地域の安全に関する情報について、どのような内容を知りたいと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。**



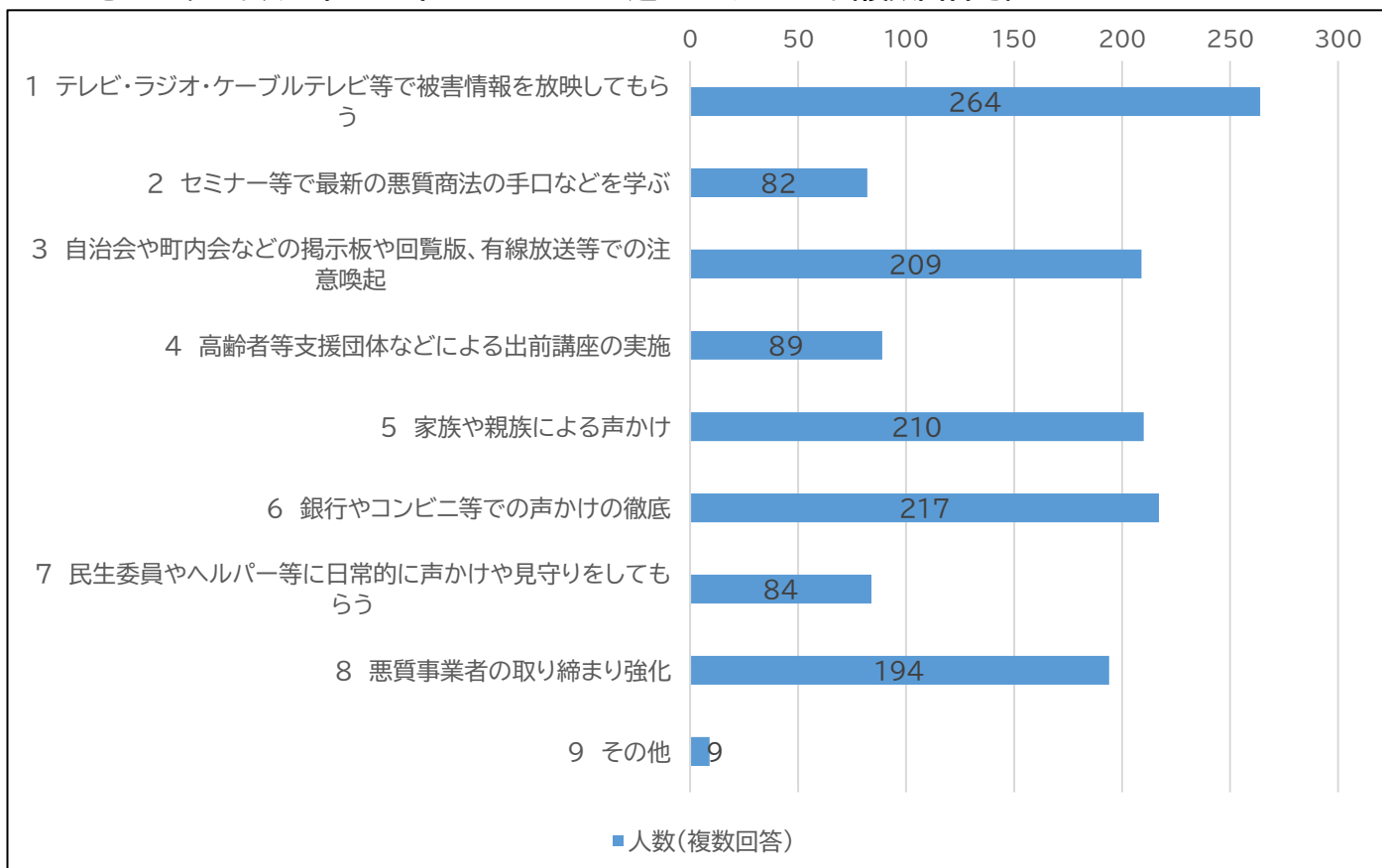
※複数回答、回答者 424 名

**【問 5】子どもの安全を確保するため、あなたは、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。**



※複数回答、回答者 424 名

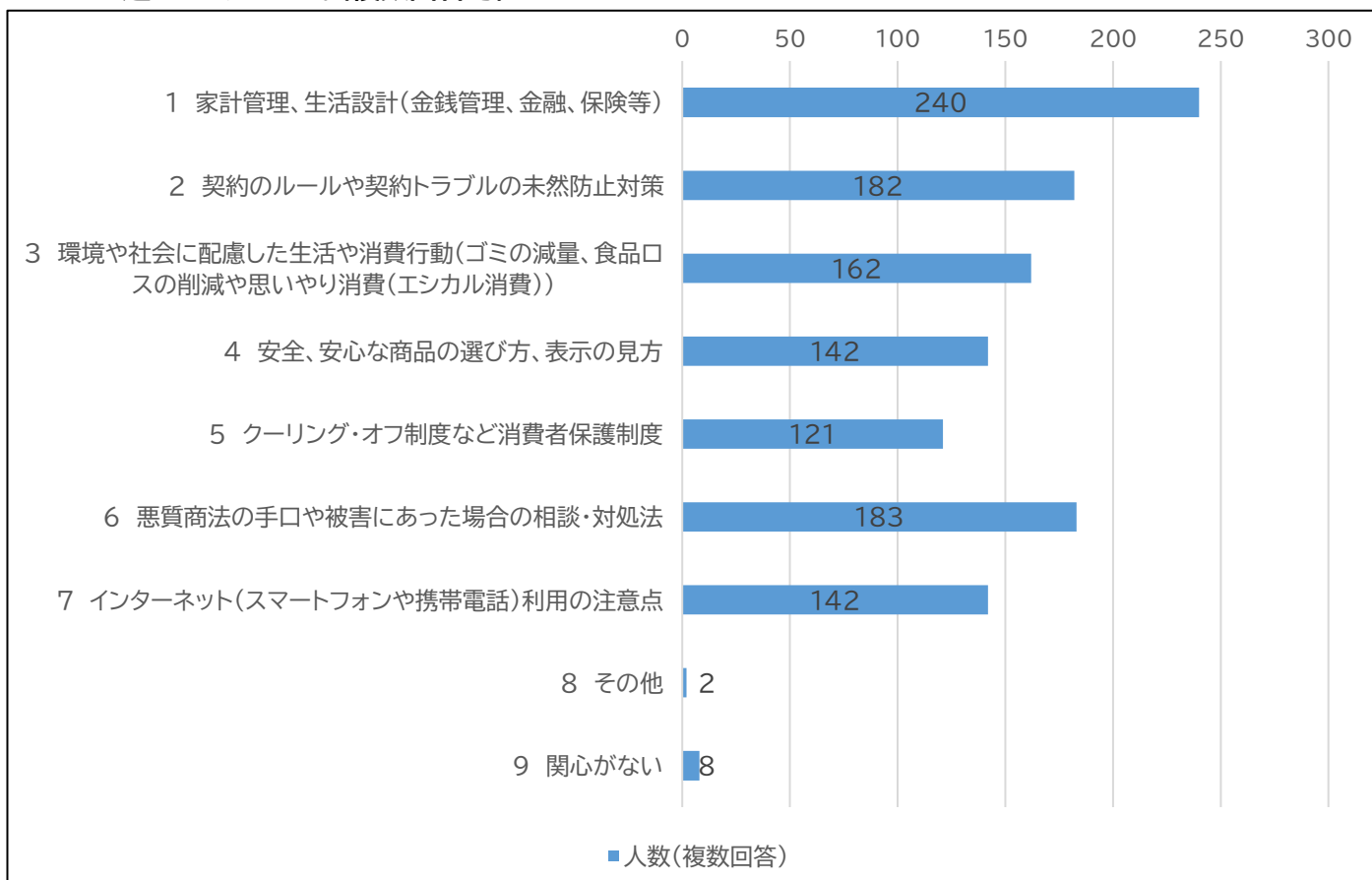
**【問6】あなたは、高齢者や障がい者等が消費者被害<sup>(※)</sup>にあわないために、どのような対策が必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)**



(※)電話勧誘販売や訪問販売、還付金詐欺や架空請求等による被害・トラブル

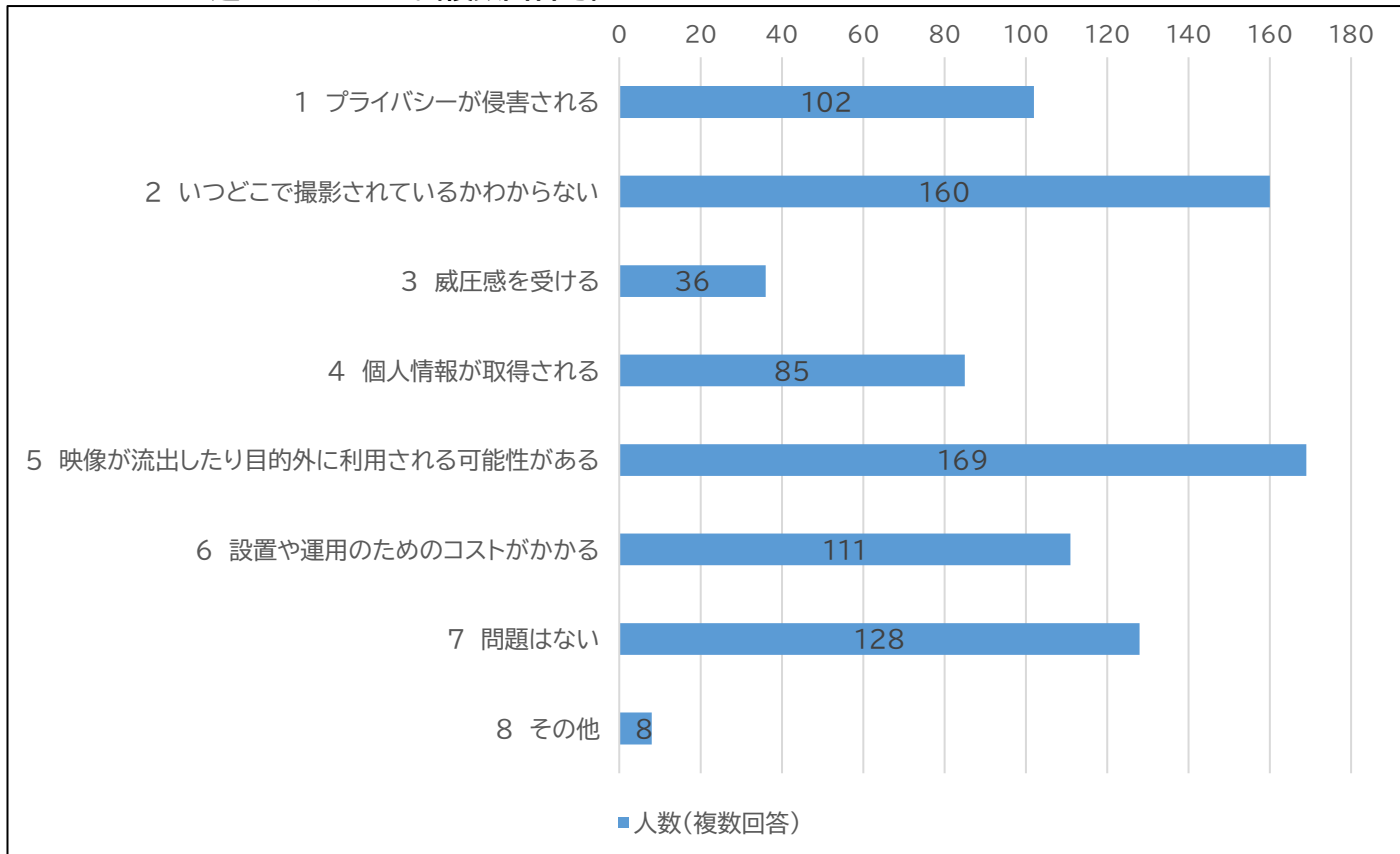
※複数回答、回答者 424 名

**【問7】あなたは、消費生活に関し、どのような内容について関心がありますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)**



※複数回答、回答者 424 名

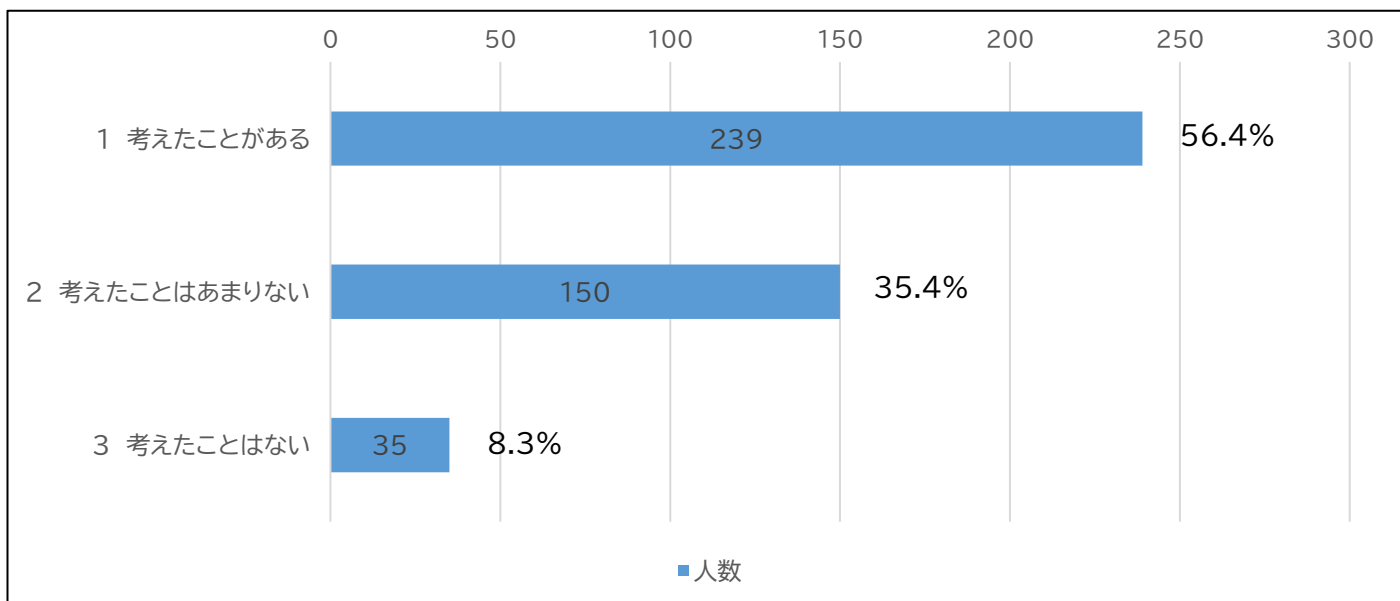
【問8】あなたは、防犯カメラの設置について、どのような問題点があると考えますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)



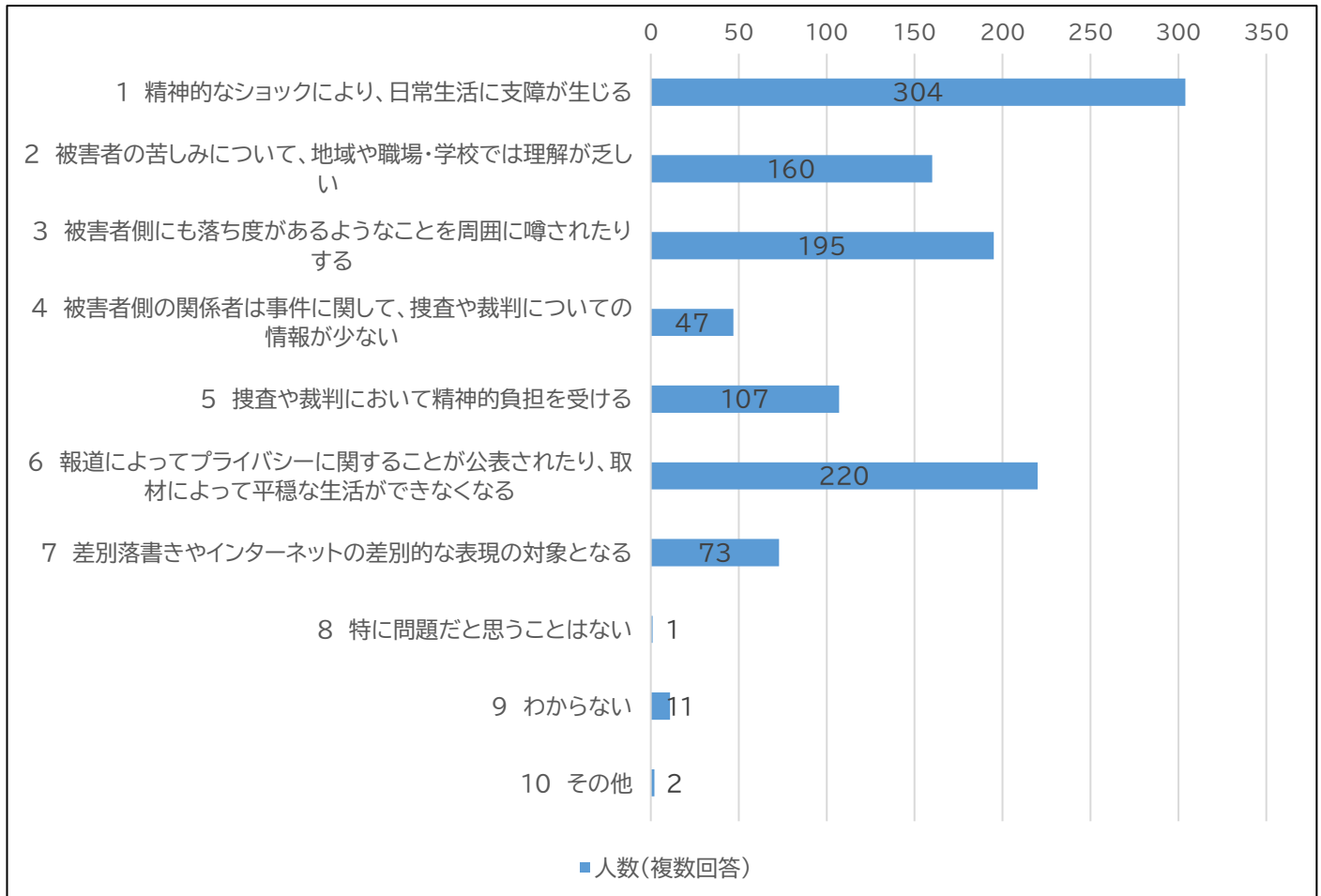
※複数回答、回答者 424 名

【問9】犯罪・性暴力等の被害に遭った方及びその家族又は遺族(以下「犯罪被害者等」という。)は、直接的な被害の他に、周囲の人々の無理解による言動等のために二次被害(追加的被害)を受け、人権が傷つけられる場合もあります。

あなたは、犯罪被害者等の人権の問題について考えたことがありますか。次の中から当てはまるものを1つを選んでください。



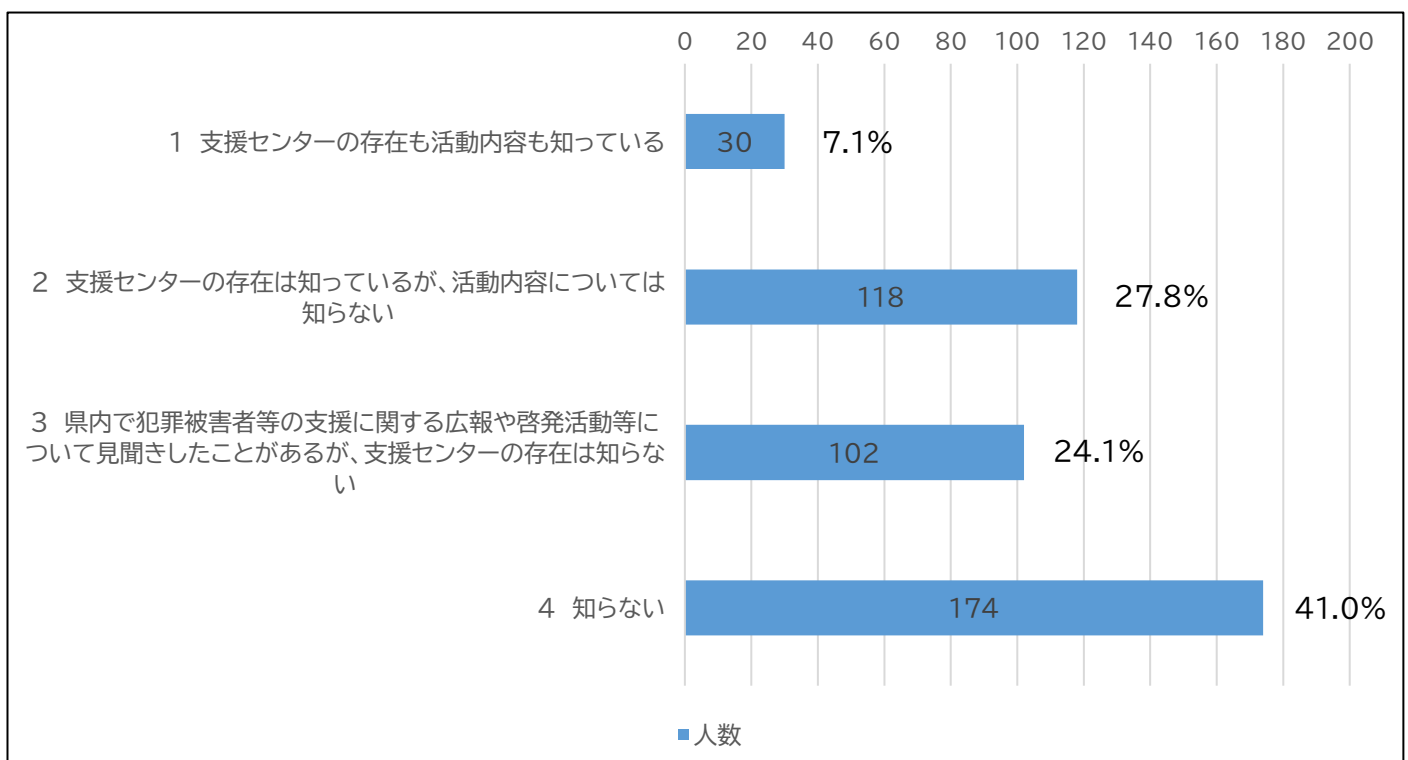
【問10】あなたは、犯罪被害者等の人権に関することで、問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。



※複数回答、回答者 424 名

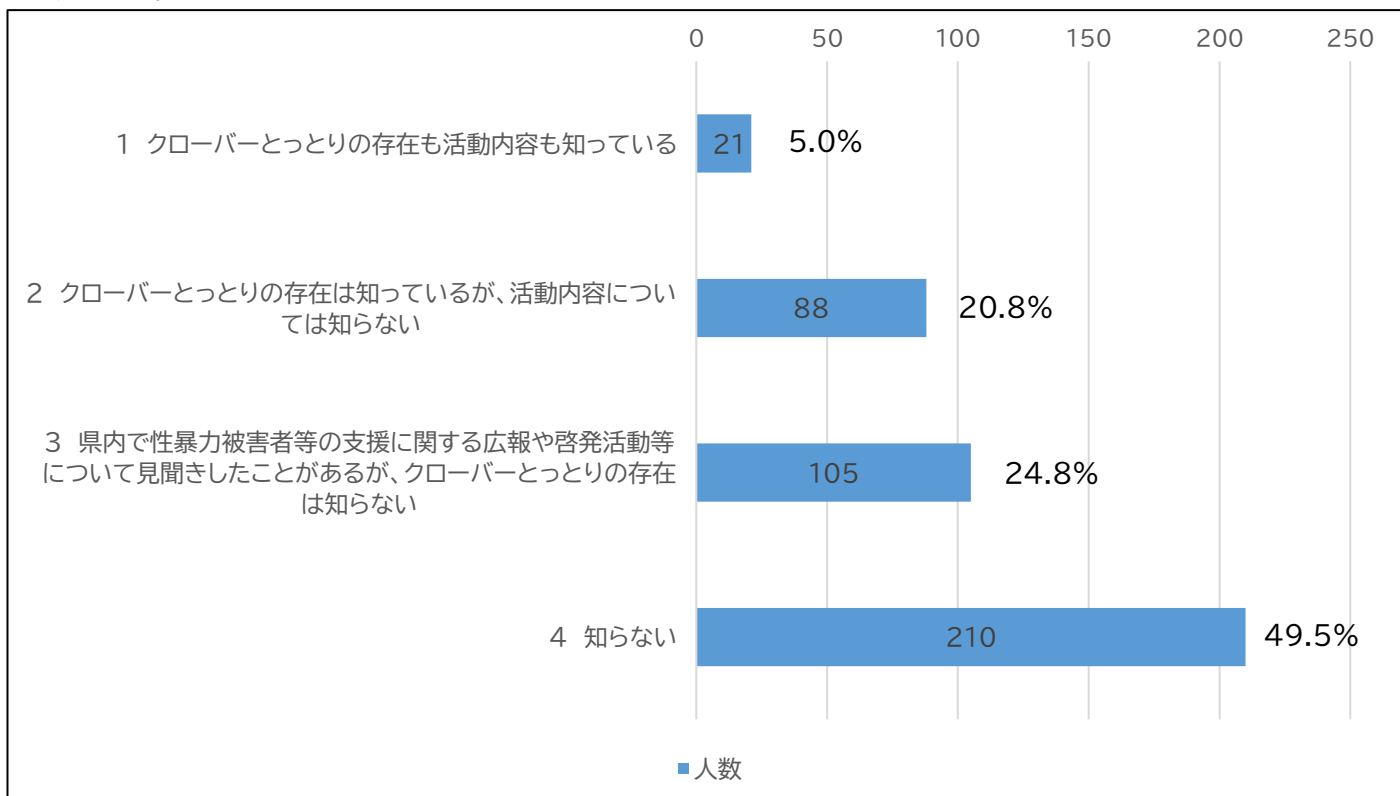
【問11】とっとり被害者支援センター(以下「支援センター」という。)では、犯罪被害者等に対する相談やサポート、支援の必要性に関する広報・啓発活動を行っています。

あなたは、支援センターについて知っていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。



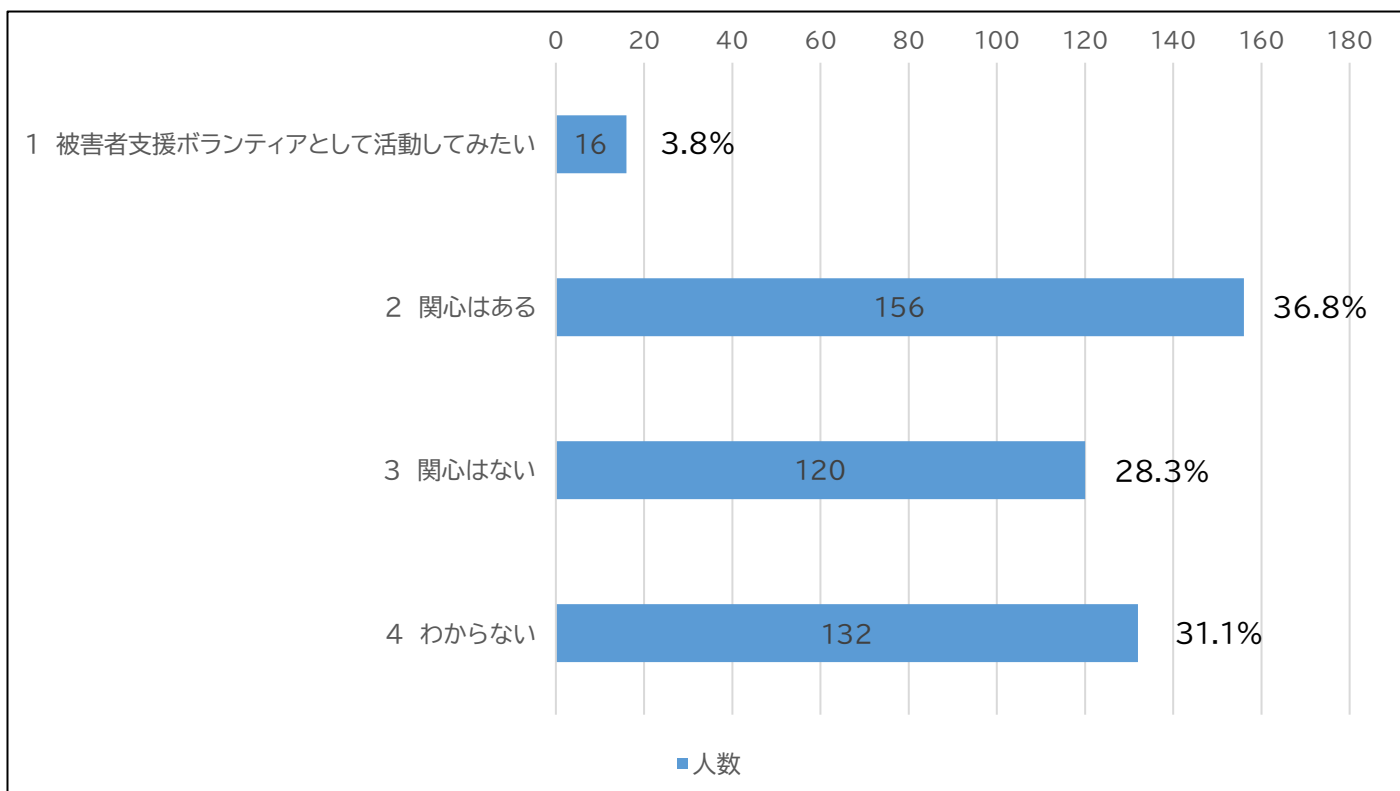
【問 12】性暴力被害者支援センターとっとり(クローバーとっとり)(以下「クローバーとっとり」という。)では、性暴力被害者等に対する相談やサポート、支援の必要性に関する広報・啓発活動を行っています。

あなたは、クローバーとっとりについて知っていますか。次の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。



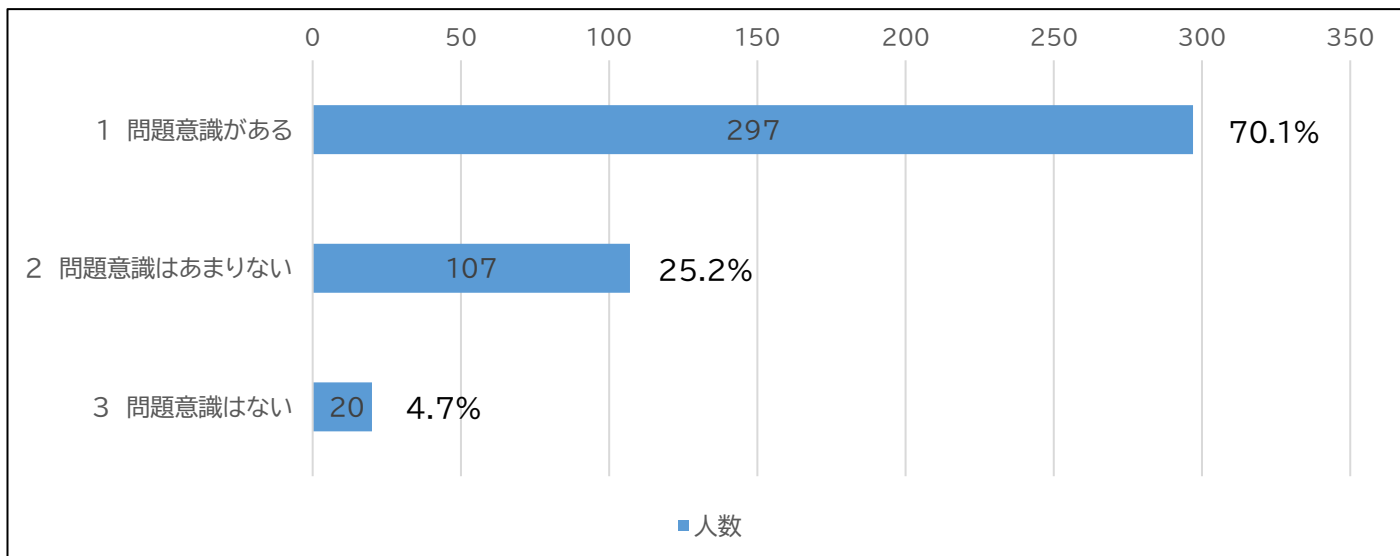
【問 13】支援センターやクローバーとっとりでは、養成講座等を経て登録された被害者支援ボランティアの方が、電話・面接相談への対応補助などの支援活動に従事されています。

あなたは被害者支援ボランティアとなって活動することに関心はありますか。次の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。

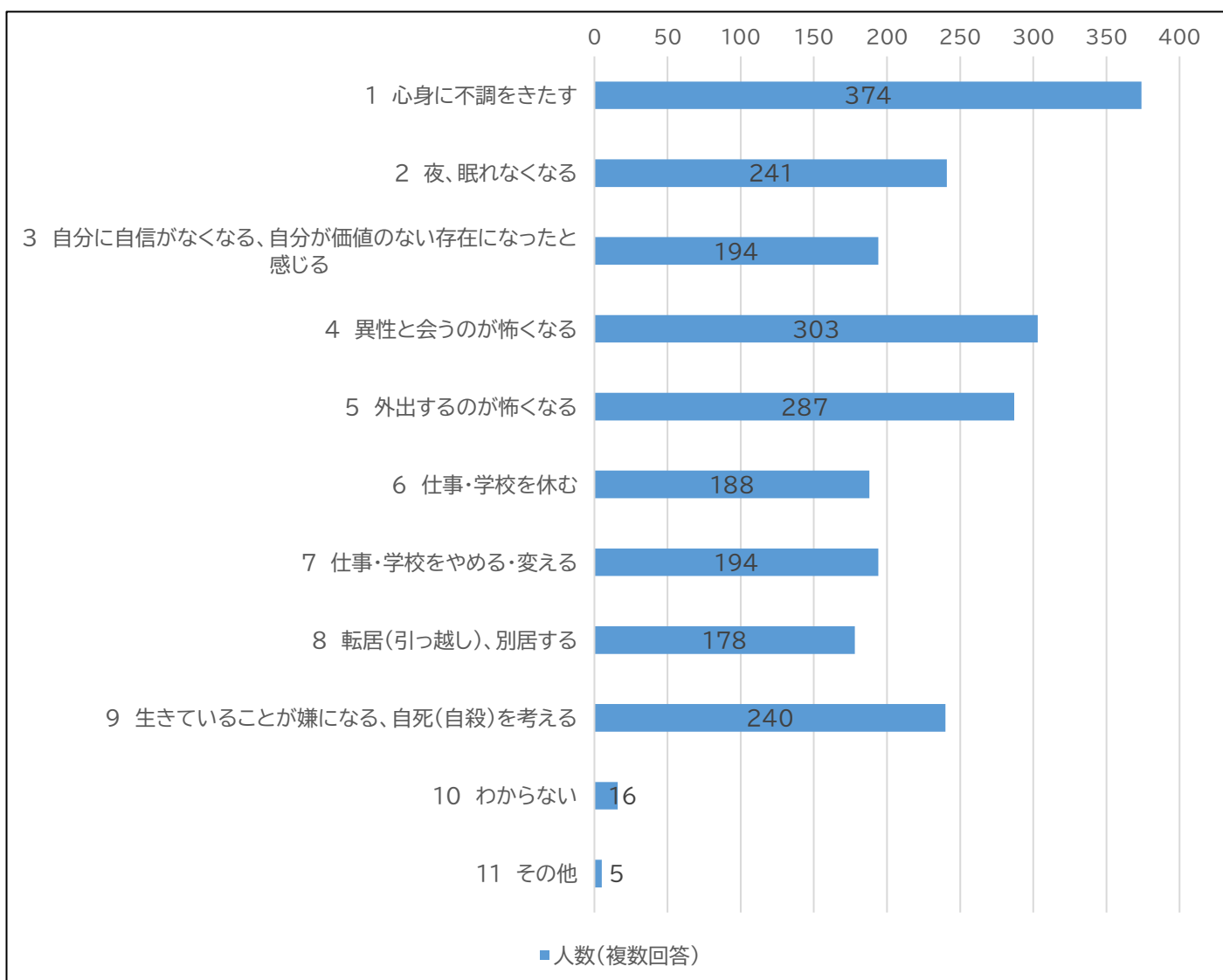


【問 14】性暴力被害の実態について、異性から無理やり性交された経験がある方は、本県の調査では約 5%、内閣府の調査では約 4%あり、そのうち、誰にも相談しなかった方は本県の調査では約 5割、内閣府の調査では約 6割でした。「恥ずかしくて言えなかった」、「自分さえがまんすれば」や「思い出したくなかった」などの理由から声をあげられない方が多いと考えられます。

あなたは、こうした性暴力被害について普段から問題意識を持っていますか。次の中から当てはまるものを 1つ選んでください。



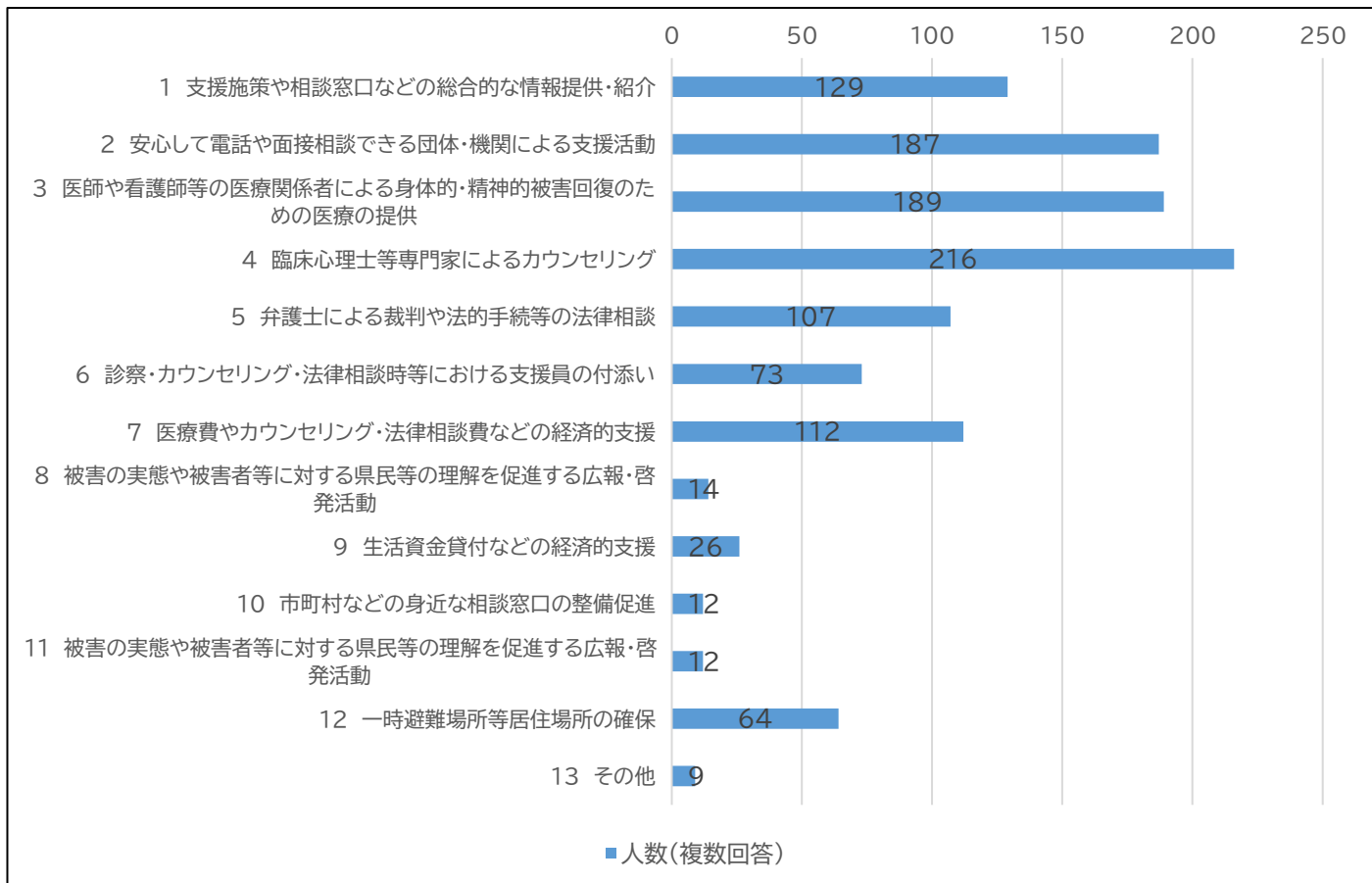
【問 15】あなたは性暴力を受けた被害者には、どんな生活上の変化が生じると思いますか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)



※複数回答、回答者 424 名

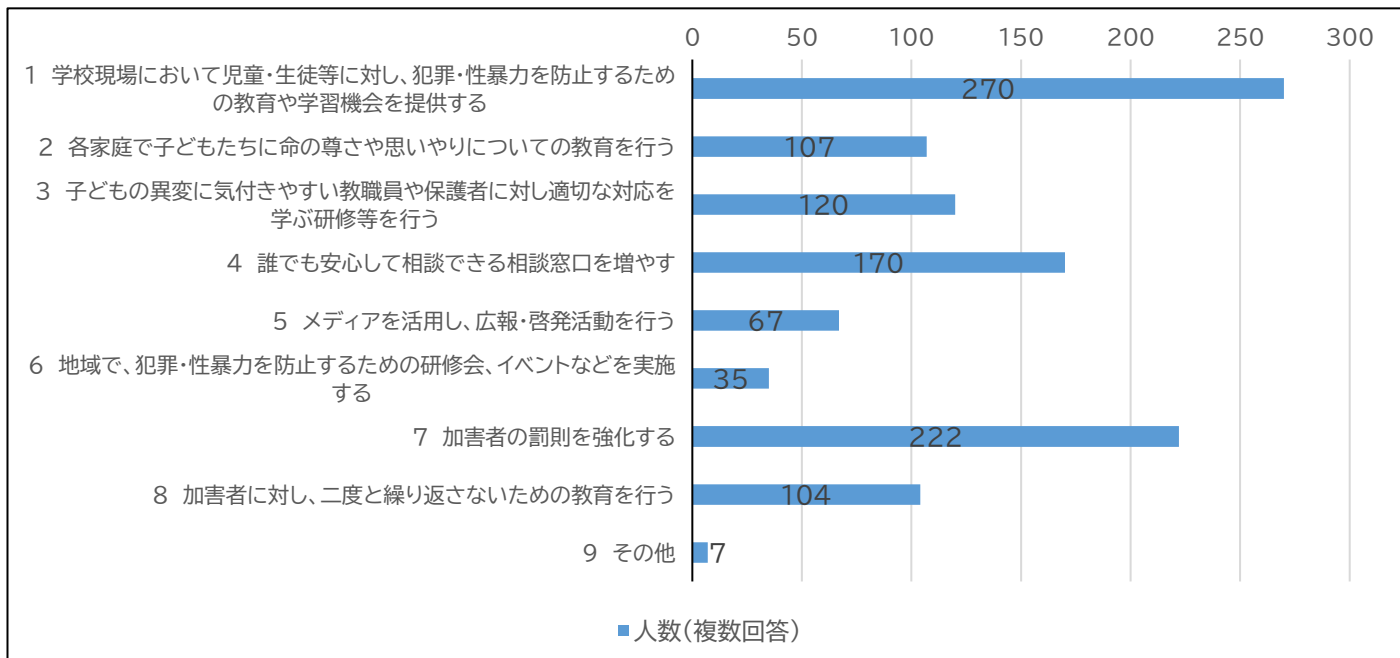


【問 16】あなたは犯罪・性暴力被害に遭われた方への支援のために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。



※複数回答、回答者 424 名

【問 17】あなたは犯罪・性暴力被害をなくすために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。



※複数回答、回答者 424 名

【問 18】地域が行っている防犯対策、防犯パトロールに関すること、犯罪に遭わないための対策や犯罪被害者等支援施策について、あなたが日頃から実践していることや考えていることなどありましたらご意見を自由にご記入ください。

※自由記載のため省略